

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870105487
法人名	医療法人 福井整形外科・麻酔科
事業所名	グループホーム杜の里
所在地	松山市鷹子町185番地1
自己評価作成日	平成21年10月1日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年10月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

スタッフ一人ひとりが、事業所の理念を念頭におき、利用者の言葉、思いを尊重し、利用者が自身の思いや希望を、遠慮なく自然に出せるように接しています。出された思いや希望に、可能な限り応えられるよう、スタッフ一丸となって取り組んでいます。 健康面では、母体病院の医師はもちろん、他機関の医師等とも定期的な報告、相談を行い、終の棲家として安心して暮らしていただけるよう体制を整えています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

●事業所は町内会に加入されており、地域の清掃活動に職員が参加されたり、地域の敬老会や文化祭、夏祭り、運動会にも利用者とともに参加されている。事業所主催のバザーには、地域の方にボランティアでお抹茶のコーナーを担当していただいた。近所の方に野菜作りを教えてもらったり、畑仕事の手助けをしていただいている。事業所の庭には囲いがなく、畑仕事をしていると近所の子どもたちが遊びに来てくれることもある。 ●昼食メニューの中の「冬瓜」の話題で会話が弾み、利用者の方から「今日のメニューはあり合わせのもので私が考え、調理も職員の方と一緒にしました。なすびは庭の畑で採れたものです」と教えていただいた。
--

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる （参考項目：23,24,25）	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています （参考項目：9,10,19）	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらい 3. 家族の1/3くらい 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある （参考項目：18,38）	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている （参考項目：2,20）	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている （参考項目：38）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている （参考項目：4）	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている （参考項目：36,37）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている （参考項目：11,12）	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらい 3. 職員の1/3くらい 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている （参考項目：49）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている （参考項目：30,31）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらい 3. 家族等の1/3くらい 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている （参考項目：28）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

- 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名

グループホーム杜の里

(ユニット名)

ふきのとう

記入者(管理者)

氏 名

佐伯 伸治

評価完了日

平成21 年 10 月 1 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			いつも目に付く場所に理念を掲示し、管理者・職員共に共有し、実践に向けて取り組んでいる。	
			(外部評価)	
			事業所では開設時に、「あわてず、あせらず、あきらめず」と理念を掲げておられ、2年前には「目の届く、手の届く、心の届く生活を支えます」と追加して取り組まれている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			地域の方々となじみの関係が出来て、気軽に声かけし合っているように思います。事業所主催のバザーを毎年楽しみにしておられる方もいるようです。職員にも同じ地域の住人もいますので、地域行事の情報も入り、積極的にそれに参加しています。	
			(外部評価)	
			事業所は町内会に加入されており、地域の清掃活動に職員が参加されたり、地域の敬老会や文化祭、夏祭り、運動会にも利用者とともに参加されている。事業所主催のバザーには、地域の方にボランティアでお抹茶のコーナーを担当していただいた。近所の方に野菜作りを教えてもらったり、畑仕事の手助けをしていた。事業所の庭には囲いがなく、畑仕事をしていると近所の子どもたちが遊びに来てくれることもある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			包括で開催される発表の場で実践をお話しさせて頂く場を頂いたり、「認知症サポーターフォローアップ講座」にも参加させて頂く予定で、経験や実践を地域の人々に向けて活かせる機会も増えてきているように思います。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議で避難訓練を行った際には、町内の方 からも多くのアドバイス、意見も頂きました。参加され る方（特に利用者のご家族）を増やしたり、定期的 に入れ替わったりする事でより多くの意見を頂き、サー ビス向上に活かしていきたいと思います。	
			(外部評価) 運営推進会議は、2カ月に1回開催されており、研修等 で職員が学んだことや外部評価結果の報告等をされて いる。又、会議として時には、民生委員の方とともに 喫茶店に出かけたり、庭でバーベキューを楽しむ際 にはご家族が多く参加されている。運営推進会議で避難 訓練を実施した際には、避難訓練を繰り返し実施する ことの大切さを話していただいたり、町内会長の方 から「毛布に包んで避難させる方法」を教えていただ いた。	会議に、いろいろな立場の方の出席をいただけるよう な工夫や、議題・すすめ方の工夫等、運営推進会議を 貴事業所のさらなるサービスの質の向上につなげてい けるような取り組みを今後も工夫していかれてほし い。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議などの機会を利用し、お話ししたり相談 したりはありますが、サービス向上の手段として活用 と言う面で、不十分だと思います。	
			(外部評価) 地域包括支援センター主催の地域住民を対象とした研 修会時に、職員が事業所のケアの取り組み等を報告さ れた。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中、玄関の施錠はしておらず、安全確保のためのド アセンサーを設置しています。利用者の方は、気軽に 庭の散歩をされたり、出入りが自由なので、思い思い の生活をされています。	
			(外部評価) 日中、玄関は鍵をかけず、職員が目配りされており、 気ままに出かけられる方には、職員が後から付き添う ようにされている。事業所で行う勉強会には、身体拘 束の対象となる具体的な例を挙げて勉強をされてい る。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 管理者・職員間で共通の意識を持ち、言葉にも一つ一つ気をつけながら注意しあって防止に努めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 成年後見制度について学び、よく理解した上で必要性のある個人に対して活用し、援助できるようにしています。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時、出来るだけ分かりやすい言葉で説明を行い、内容を理解していただいてから、同意を頂いています。説明時だけでは理解し切れていない事もあるので、その都度確認・相談して頂けるような関係作りを心がけています。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の表出しにくい思いなどを汲み取れるように職員は思いを聞くように努めています。また、運営推進会議を活用し、ご家族の方も共に、外部の方と接する機会を設けています。表出したそれぞれの思いには応えていけるように努めています。 (外部評価) 毎月発行されている「杜の里だより」は、行事や外出、日常の様子の写真を多く載せて、ご家族に送付されている。ご家族の来訪時や遠方のご家族にはメール等で、ご本人の様子を知らせておられる。忘年会やクリスマス会、お花見等はご家族も一緒に楽しまれている。	現在、ご家族からご意見をいただくことは少ないようであるが、管理者は、ご家族の言い出しにくい心情をよく理解されている。たとえば、年1回程度、ご家族個々とゆっくりと話し合えるような機会を作ってみてはどうだろうか。ご家族の事業所への要望や思いを探り、貴事業所のさらなるサービスの質向上につなげていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○ 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			毎月1回のミーティングを活用し、気軽に意見が出せるように努めています。	
			(外部評価)	
			職員は、毎月のミーティング時に、日々のケアについての意見や提案を出し合い話し合っておられ、外部研修で知り得た音楽療法のCDをケアに採り入れておられた。	
12		○ 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			向上心を持って働ける環境条件が整備できているかは分からない。職員は給与面において不満を持っているようです。また、それによりレベルアップしようという意欲もかきたれないようです。他の職種と比べると、まだまだ条件が整っていないと思うとの意見もあります。	
13		○ 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			母体病院の院長より年に1回、緊急時の対応等を学んでいます。また、研修の案内により、職員が希望し、知識を高めるように努めています。	
14		○ 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)	
			同じ母体の他のGHとは、お互いのバザーや餅つきなどの行事を通して交流しています。また、地区のGH交流会、相互評価などにも積極的に参加し、客観的な視点からの自GHを知り、向上できるよう努めています。	
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○ 初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			契約前、こちらからの事前訪問や見学に来て頂くなどし、少しでもご本人の声を聞くよう努めています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○ 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 契約前の見学時にもご家族の声もお聞きしています。契約後も何か疑問などがあれば聞いていただけるよう、関係作りに努めています。	
17		○ 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居前のご家族、ご本人の希望などを踏まえ必要な支援等を考え、随時変更・見直しが行えるよう努めています。他のサービス利用を含めた対応は入居が前提の段階であれば十分な対応は出来ていないと思います。	
18		○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 利用者から教わることや助けられることもあり、お互い様の関係を気づけるよう努めています。	
19		○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族やご本人の気持ち、考えを汲み取りながらその思いに沿えるよう支援していく事により関係を築いている。	
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 面会時間などを定めず、知人の方々がいつでも気兼ねなく来所して頂けるように支援しています。 (外部評価) ご自分の携帯電話でご家族や友人とお話をされる方もある。月に1～2回、学生時代の友人と一緒に外出に出掛ける方や週1回、ご家族と外出される方もある。以前、歌手のコンサートで知り合った友人が東京から訪ねて来られて、一緒にコンサートに出かけられた。お墓参りを希望される利用者には、ご家族と出かけられるように支援されている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者それぞれの性格を把握し、利用者同士の関係がよい状態で保てるよう、場面によってはスタッフが仲立ちしながら支援しています。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) サービス終了後も情報交換(状況をお聞きする)などし、ご家族の相談等に努めています。	
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者それぞれと個別に関わりを持つようにし、何気なく発した考えや気持ちを記録し、職員で情報を共有している。出来る限りその希望に沿えるよう努めています。	
			(外部評価) センター方式の「24時間生活変化シート」をもとにした事業所独自の書式を用いて、ご本人の言葉や職員の気づきを記入し、利用者個々の思いや意向の把握に努めておられる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご家族の方々、以前に入所されていた施設、病院等より情報収集し、一人一人の今までの暮らしを継続できるように支援している。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 現状把握は個人個人の差が大きく、気づきがある人とならない人とに分かれていると感じているようです。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアの あり方について、本人、家族、必要な関係 者と話し合い、それぞれの意見やアイディ アを反映し、現状に即した介護計画を作成 している	(自己評価)	
			介護をする側本位の介護が多いと感じているよう です。 本人や家族の意見を引き出し、それを反映させるよう 努めたいと思います。	
			(外部評価)	
			毎日ケアプランチェック表でケアをチェックして、月1 回モニタリングを行い、3か月毎に計画を見直しされて いる。利用者の状態によっては、主治医等のアドバイ スも計画に採り入れておられる。	管理者は、さらに、ご本人の思いや意向を介護計画に 十分に反映していきたいと考えておられる。今後も、 ご本人がより良く暮らすための計画の作成に工夫を重 ねていかれてほしい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや 工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を 共有しながら実践や介護計画の見直しに活 かしている	(自己評価)	
			個別記録はある程度できているようです。しかし日々 の実践や介護計画には十分に活かされていないと感じ ているようです。必要な部分の情報共有も不十分な事 があり、より一層努力したいと思っています。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機 能化 本人や家族の状況、その時々生まれる ニーズに対応して、既存のサービスに捉わ れない、柔軟な支援やサービスの多機能化 に取り組んでいる	(自己評価)	
			母体病院へ週2回リハビリ通院を支援するなど支援し ています。他にも必要に応じ、ニーズに応えられるよ う努めていきたいと思っています。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源 を把握し、本人が心身の力を発揮しながら 安全で豊かな暮らしを楽しむことができる よう支援している	(自己評価)	
			地域資源の活用、協働の点でまだまだ活用する機会が 少ないように思います。より、情報収集や関わり作りに 努めたいと思います。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○ かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			ご本人の希望に沿った支援が出来るよう努めていると 思います。	
31		○ 看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(外部評価)	
			ご本人やご家族の希望された主治医に受診されてい る。協力医療機関である母体病院は、24時間体制で診 てくれるようになっており、2週に1回の往診と週に 1回の看護師の訪問時に利用者の健康チェックをされ ている。	
32		○ 看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
			医療連携や、受診時などに看護師に気づきや情報を伝 え、相談しているが、全員が同じようにできてはい ないように思います。また、伝えた結果も全員で共有で きるよう努力する必要があると思います。	
33	12	○ 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			関係者、家族と相談、情報交換を行い、体調不良時に にはすぐ対応出来るように努め、また、入院時も出来 る限りの支援、情報収集を行い、早期の退院・また退 院後のケアについて話し合い対応出来るように体制を 整えています。	
33	12	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			入居時に、終末期に関してのご家族の希望を大まかに お聞きしている。必要に応じ、細かく説明等を再度行 い、重度化した場合の指針を作成し、ご家族・それま でのご本人の希望を取り入れるよう	
33	12	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(外部評価)	
			事業所では、入居時に希望があれば、看取り支援を行 えることを説明されており、利用者の状態に応じて、 主治医やご家族と今後のことについて話し合うようにな っている。事業所では、主治医や訪問看護と連携 し、ご家族も事業所に宿泊し協力し合い、ご本人を最 期まで支援された事例もある。法人代表者である医師 も出席して、事業所の看取りの経験を踏まえ、勉強会 をされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○ 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 緊急時の対策マニュアルを作成し、活用している。 応急手当など、母体病院で年1回の勉強会も実施している。	
35	13	○ 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2回、消防の方の指導の下、避難訓練を実施しており、とても身になっている。非難・通報についてご指導いただいている。 (外部評価) 運営推進会議時、地域の方や市の担当者も参加いただき、避難訓練を実施された。訓練時、1階のご利用者の避難にかかる所要時間を計られた。参加いただいた方からは、2階の利用者の避難誘導や夜間時の対応等についてご意見をいただいた。又、災害時の避難について、近隣の方々に協力いただけるようお願いされた。	 さらなる利用者、職員の安全と安心のためにも、いろいろな場面を想定して事業所独自でも訓練を重ねていかれてほしい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○ 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) プライバシーを大事に声かけをし、日々のケアを行えるよう努めています。 (外部評価) 職員は、利用者にやさしく接しておられた。	 管理者は、今後さらに職員の利用者への対応について、職員個々のスキルを高めていきたいと考えておられる。まずは、管理者が実践に努めておられた。たとえば、全職員で日々のケアについて点検されたり、ご家族や運営推進会議の参加者の方等のご意見を聞く等、貴事業所のケアサービスの質向上へのきっかけにされてはどうか。
37		○ 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) その都度メモを取り、連絡・報告し利用者の希望に沿えるようにしています。迷われている時は、助言やヒントを提示し、最終的に利用者に決めてもらえるよう努めています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりの生活のリズムや体調に考慮しながら対応出来るよう努めています。必ずしも希望通りにはならないこともあります。代替案や日をずらすなどの案を提供し、希望に近づけるよう支援をしています。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) みなさんでおしゃれを楽しめるようにしています。女性らしくお化粧したり、個々にあったおしゃれを楽しんでいます。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) それぞれの方に応じて準備や片付けなど出来る事をして頂けるよう支援しています。月に数回程度、利用者の希望を聞きつつ、外食も楽しんでいます。	
			(外部評価) 調査訪問時の昼食時、職員は利用者の間に入り、介助しながら利用者と同じメニューの食事を食べておられた。昼食メニューの中の「冬瓜」の話題で会話が弾み、利用者の方から「今日のメニューはあり合わせのもので私が考え、調理も職員の方と一緒にしました。なすびは庭の畑で採れたものです」と教えていただいた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) たくさんの食材や、季節の物を使いながら栄養を考えて調理しています。個々に応じて刻み食など食べやすい工夫もしています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 個々に応じた口腔ケアを行っています。月に1回歯科往診にも来てもらい、指導もして頂いています。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			記録をしっかりと、個々の排泄パターンを把握し、トイレで排泄できるよう努めています。	
			(外部評価)	
			排泄パターンに沿ってトイレで排泄できるよう誘導されている。便秘がちな利用者には、朝食前に牛乳を飲むようにすすめておられる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			牛乳を毎朝飲んで頂いたり、繊維質の野菜を多く摂ってもらうなどしながら便秘予防に努めています。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			本人の希望を聞きながらスタッフが声かけし入浴してもらっています。一人ひとり、その時の状態や、気分に応じて入浴できるよう支援しています。	
			(外部評価)	
			毎日お風呂を沸かして2日に1回は入浴できるように支援されている。好みのシャンプーを使っている方もあり、歌がお好きな方は職員がリクエストをして湯船の中で披露してもらうこともある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			一人ひとりの生活リズムや状況に合わせ、安心して気持ちよく眠れるよう努めています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 使用の目的、副作用を全員が理解出来てはならず、新しい職員にもそれが分かるよう努力していきたいと思っています。 症状の変化があれば、観察・記録し医療機関に報告できるよう努めています。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 一人ひとり、それぞれの方法で気分転換や役割を持てるよう支援しています。重度の方に対しても話したり、聞いたりの会話をしながら気分転換できるよう努めています。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 利用者の希望を聞きながら希望のあった場所へ出かけられるよう支援しています。 ご家族様にも協力を頂きながら、利用者がご家族と出かけられる機会も増えました。 (外部評価) 日向ぼっこしながら畑仕事をする様子を眺めたり、天気等を見ながら庭に出て過ごされている。食材の買い出しに利用者と一緒にいかれたり、道の駅やコスモス等のお花を見に出かけたり、ご利用者の希望に沿って月1回、外食にも出かけておられる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お金を持たれている方もおられます。その方の状況により残金を確認しお伝えするなど、その方に合わせた支援を行っています。利用者がお金を持つことの大切さの理解については、個人差があるようです。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご自分の携帯電話を持たれている方もおり、それぞれの方に応じた支援が出来るよう努めています。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			リビングは季節に合わせた飾り付けをしたり、花を飾ったりしています。 畳コーナーも設けており、冬にはコタツでくつろいだり、季節を感じた生活が送れるよう支援しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(外部評価)	
			2階の居間には天窓から自然の光を採り入れておられ、吹き抜けで開放感を感じる造りとなっている。食卓テーブルにはシオンの花が生けられており、利用者の話題になっていた。ソファに座ってテレビを見たり、畳のコーナーでは、お昼寝をされる方もあり、個々が思い思いの場所で過ごされている様子が見えた。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			それぞれのご家族とも相談しながら好みに合わせた部屋作りが出来るよう支援しています。思い出のある写真を飾ったりもしています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(外部評価)	
			居室の窓のカーテンは各自の好みのものを掛けておられる。仏壇を置いている方やご家族の写真、お孫さんからのプレゼントのぬいぐるみを飾っておられる方もあった。週に2～3回居室の掃除に来られるご家族もある。	
			(自己評価)	
			利用者それぞれにあわせ、安全に生活できるよう手すりやスロープの設置などしています。	